取扱説明書

名　称	品　名
浴室リモコン	ＴＰ－ＲＢ８０３Ａ－Ｐ
台所リモコン	ＴＰ－ＲＫ８０３Ａ－Ｐ
増設リモコン	ＳＣ－６３１

このたびはインターホンリモコンをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

浴室リモコン

台所リモコン

ガスふろ給湯器付属の取扱説明書「安全に正しくお使いいただくために」「必ずお守りください（安全上の注意）」もあわせてお読みください。

もくじ

操作ダイジェスト

お湯を使う　P. 7参照

給湯温度

おふろのシャワーや台所・洗面所のお湯の温度をお好みに調節して使用できます。

ご使用の目安　（単位:℃）

37 38	39 40 41 42 43	44 45 46 47	50 55 60
食器洗いなど	シャワー・給湯など	給湯など	高 温

■:工場出荷時

自動でおふろを沸かす　P. 9参照
沸かし直しをする

お湯張り開始

設定ふろ水位でお湯張り

冷めれば自動沸き上げ

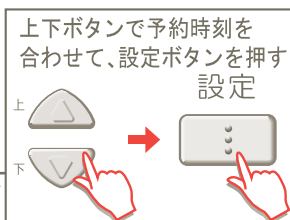
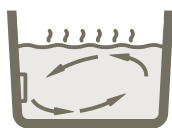
減ったらたし湯（全自動タイプのみ）

おふろが沸く時刻を予約する　P. 14参照

メニュー　開始

予約表示が点滅するまでメニューボタンを数回押す

予約時刻を変更する場合

上下ボタンで予約時刻を合わせて、設定ボタンを押す

おふろのお湯を熱くする　P. 15参照
（追いだき）

おふろのお湯を循環させて、熱くします。

おふろのお湯をぬるくする　P. 15参照

おふろのお湯が熱いときぬるくすることができます。

メニュー

ぬるく表示が点滅するまでメニューボタンを数回押す

ぬるく表示が点滅

開始

ぬるく・メニューバーが表示

おふろのお湯をたす　P. 16参照

おふろのお湯をたすことができます。

メニュー

メニューボタンを押したし湯表示を点滅させる

たし湯表示が点滅

開始

たし湯・メニューバーが表示

省電力機能付　P. 6参照

リモコン待機時の電力低減のための省電力機能

5秒長押し　設定

省電力ランプ点灯

省電力

5分後画面表示が消えます

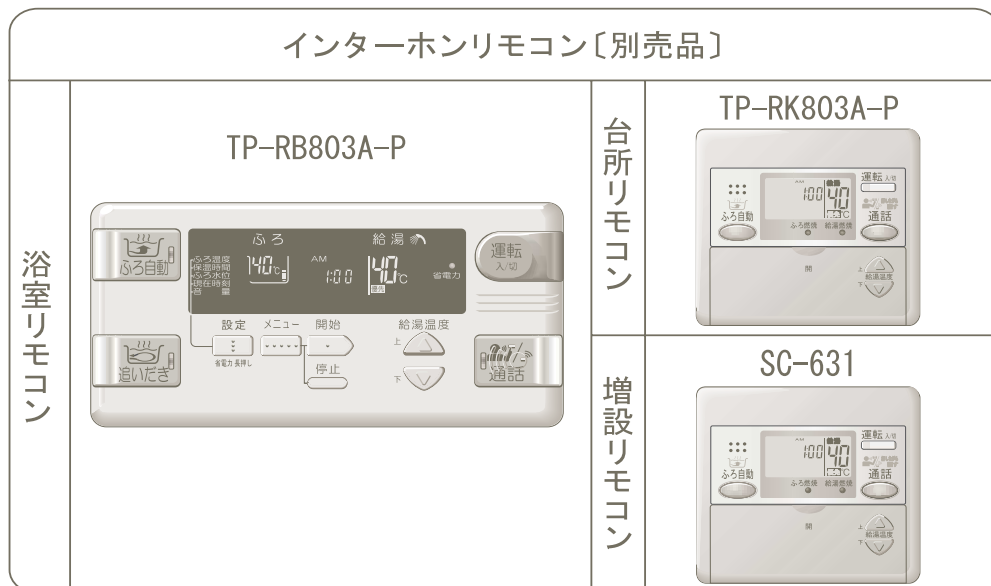
インターホン機能付　P. 26参照

"お〜い シャンプーがないよ"

浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出し、会話ができます。

配管洗浄機能付

（全自動タイプのみ）

おふろのお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。
ふろ自動運転終了後、浴槽のお湯（水）を排水するとふろ配管内の残り湯を、きれいなお湯（水）約6リットルを流して浴槽の循環口から排出します。
浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合に、はたらきます。

必ずお守りください（安全上の注意）

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 警　告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示については次のような意味があります。

一般的な禁止

分解禁止

お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
（→P. XX参照）	参照ページを示しています。

⚠ 警　告

リモコンの取付け工事

●リモコンの取付け工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ依頼し、正しく設置する。ご自分で取付けや分解・修理をされ不備があると、故障・感電・火災の原因になります。

お願い

お手入れ

●お手入れをしてください。（詳しくはふろ給湯器の取扱説明書をご覧ください）

ガス事故防止のために

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

リモコンの扱いについて

分解禁止

●リモコンは分解しないでください。
誤動作や故障の原因となります。

●台所リモコンには水をかけないでください。
浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカー部に水がかかると音声が小さくなることがあります。

●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

禁　止

各部の名称とはたらき

■浴室リモコン（浴室に取付けます） TP-RB803A-P（別売品）

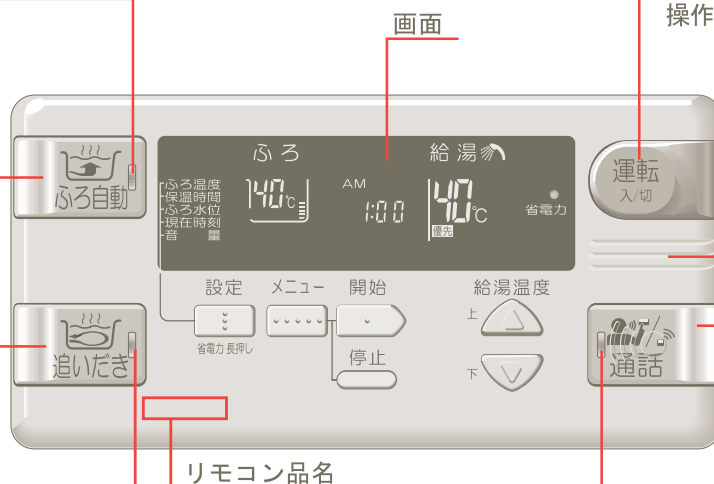
給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。別売の台所リモコン、増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作（一部の操作）することもできます。

設定ボタン
ふろ温度・保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。
ボタンを長押しすると省電力モードになります。（→P. 6参照）

開始ボタン
たし湯・ぬるく・半身浴・予約・体脂肪・体重・cal・優先等のメニューを開始するときに押します。

メニューボタン
たし湯・ぬるく・半身浴・予約・体脂肪・体重・cal・優先等のメニューを切替えるときに押します。
※設定できる項目が表示され、現在の設定の項目は表示点滅します。

上・下ボタン
温度の調節をするときに押します。
また、設定・メニューの操作時には選択や入力用のボタンとして使用します。

停止ボタン
メニューで開始した動作を停止するときに押します。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示の補足説明
燃焼中は左右に動きます。

■浴室リモコンの画面表示　TP-RB803A-P(別売品)

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確かめることが出来ます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

■台所リモコン　TP-RK803A-P(別売品)

台所に設置して使用します。給湯温度の設定や、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作が出来ます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ふろ予約ボタン
おふろ沸かしの予約をしたいときに押します。　(→P. 14参照)

半身浴ボタン
半身浴運転をするときに押します。　(→P. 18参照)

設定ボタン
現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。

上・下ボタン
現在時刻・予約時刻・音量の調節をするときに押します。
※そのまま押すと給湯温度の調節ができます。

入/切　半身浴　ふろ予約　上　設定　下

■増設リモコン　SC-631(別売品)

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」／「切」、給湯温度調節、自動運転等の操作できます。
各部のはたらきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転は操作できません。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。
以下のような手順で準備ができたら、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検 確認を行います。
ふろ給湯器付属の取扱説明書をご覧ください。

2 給水元栓を全開にします。
据置タイプは機器の側部、壁掛タイプは機器の下部にあります。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。

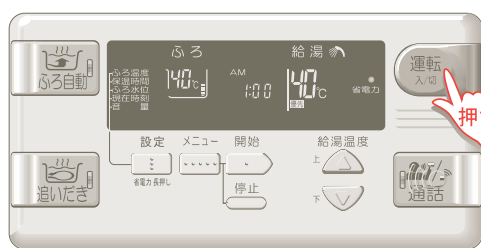
4 ガス栓を全開にします。
据置タイプは機器の側部、壁掛タイプは機器の下部にあります。

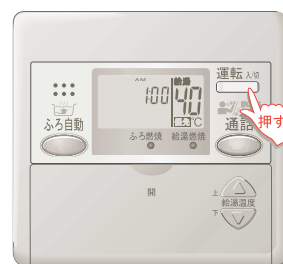
5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。

■現在時刻を合わせる

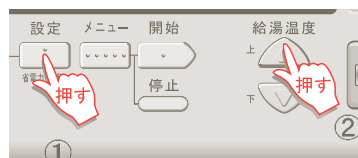
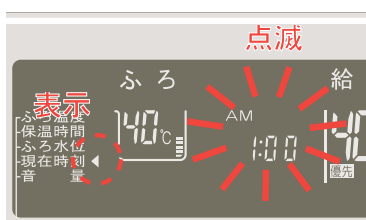
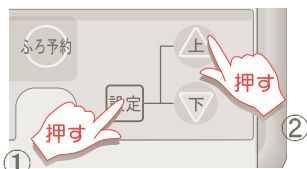
※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。
リモコンの画面に図のような表示がされます。（**運転**スイッチを押したリモコンには、優先表示が表示されます）

浴室リモコン
画面表示
優先表示

台所リモコン
画面表示
優先表示
液晶画面ライト点灯

※電源投入直後は、イラストの表示とは異なります。また、リモコンが表示するまでには、多少時間がかかります。

2 設定ボタンを押し現在時刻を設定します

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕ふたを開けます

設定ボタンを押し、◁を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“現在時刻です　上下ボタンで入力してください”

△上・▽下 ボタンを現在時刻表示が点滅している間に時刻を合わせてください。

△上ボタンは時刻が進みます。
▽下ボタンは時刻が戻ります。
※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります。

△上・▽下 ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。**“現在時刻、セットされました”**

- ●出荷時の時刻表示は「AM1：00」になっています。
- ●AM（午前）・PM（午後）に注意してください。
- ●設定時にボタン操作がない場合、しばらくするとそのまま確定されます。（音声ガイドは流れません）
- ●初回の時刻合わせは、**設定**ボタンを1回押せば時刻合わせできます。その後、時刻を直したい場合は、浴室リモコンは**設定**ボタンを4回、台所リモコンは1回押してください。

省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。
このモードを使うことで電気代の節約になります。

浴室リモコンで操作します。

1 **運転**スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 **設定**ボタンを5秒以上押し続けます

〔浴室リモコン〕

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕

設定ボタンを5秒以上押し続けます。
音声ガイドが流れます。
"省電力、セットされました"

浴室リモコン→省電力ランプが点灯します。
台所リモコン→省電力表示が表示します。

その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作がない場合

浴室リモコン→省電力ランプ以外のすべての画面表示が消えます。
台所リモコン→液晶表示画面のライトが消えます。

※下記の場合、省電力モードでも画面表示します。
- 他の場所でお湯を使用しているとき。
- 給湯温度が50℃以上に設定されているとき。
- ふろ自動運転中

省電力モード中に画面を表示させるには

各スイッチおよびボタンを押すと通常表示になります。

ご注意ください

これらのスイッチを押すと省電力モードが解除されると同時に運転が開始します。

省電力モードを解除するには

左記操作で通常運転させ、**設定**ボタンを5秒以上押し続けます。省電力ランプが消灯し、省電力モードが解除され、音声ガイドが流れます。
"省電力、解除されました"
- 台所リモコン、増設リモコンも同時に、省電力表示が消え、省電力モードが解除されます。
- 運転スイッチの「入」/「切」では省電力モードは解除されません。

お願い
- ●省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
- ●**ふろ自動・追いだき・通話**スイッチ以外のボタンは、画面が消えている状態では受け付けません。**ふろ自動・追いだき・通話**スイッチ以外のボタンを使用するときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。

- ●省電力モード中、給湯の優先を浴室リモコンから台所リモコンに移す場合は、「優先切替について」の項(P. 8)と同じ操作で行います。

お湯を使うには

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は、優先が表示されている浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれかで操作できます。

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕

「入」になっていないときは、**運転スイッチ**を押します。

2 給湯温度を調節します

給湯温度を調節するリモコンに優先が表示されていることを確認します。

上△・下▽ボタンを押してお好みの温度に設定します。

上△ ボタンは給湯温度が1段階ごと上がります。

下▽ ボタンは給湯温度が1段階ごと下がります。

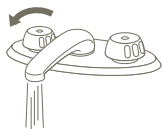
給湯温度は以下の14段階で設定できます。

ご使用の目安 （単位:℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
食器洗いなど		シャワー・給湯など					給湯など				高 温		

■:工場出荷時

3 給湯栓を開けます

〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕

浴室リモコンでは給湯燃焼表示が表示します。
台所リモコンでは給湯燃焼ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます

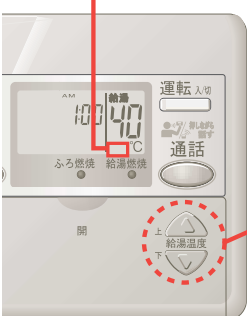
〔浴室リモコン〕 〔台所リモコン〕

浴室リモコンでは給湯燃焼表示が消えます。
台所リモコンでは給湯燃焼ランプが消灯します。

ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

⚠警告

- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- 50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定（または優先切替）するとチャイムが鳴り、音声ガイドが**“熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。
- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。

お願い

- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）、たし湯・ぬるく運転中は、給湯温度の設定はできません。（警告音でお知らせします）
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。設定したいときは、一旦出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度**運転**スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。

■優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。
また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

	給湯温度を調節できない場合	▶ 優先切替を行う（調整可能）	▶ 給湯温度を調節できる状態
浴室リモコン	優先が表示されていない	いずれかの操作で優先を切替えます 1. 優先表示が点滅するまで **メニュー**ボタンを数回押します 次に**開始**ボタンを押します 優先を変更すると 浴室優先ありの場合 **“給湯温度、浴室優先です”** 台所優先ありの場合 **“給湯温度、台所優先です”** とお知らせします。 2. 給湯温度 △・▽ を押します **“給湯温度、浴室優先です”** とお知らせします。	優先表示あり
台所リモコン	優先が表示されていない 押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴り、音声ガイドが **“給湯温度、浴室優先です 運転スイッチを入れ直してください”** とお知らせします。	**運転**スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする ※ふろ自動・追いだきなどが運転中の場合は運転を停止します。 停止させたくない場合は浴室リモコンで優先切替を行ってください。	優先表示あり

お願い
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が工場出荷時の初期設定になります。再度セットし直してください。

- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- ふろ自動運転中のシャワーおよび給湯は、ふろ設定温度で出湯されます。
- 給湯優先切替え時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替え時に、設定温度が50℃以上の場合 **“熱い温度にセットされました　注意してください”** とお知らせします。音声はいずれかのスイッチやボタンを押すと、止まります。
- 別売の増設リモコン（SC-631）と台所リモコンは連動しています。優先が台所リモコンに移ると増設リモコンも優先となります。
- エコジョーズシリーズは熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。

自動でおふろを沸かすには

おふろに水を入れて沸かし、ぬるくなったらまた沸かす。という浴室を行ったり来たりする面倒な作業はもういりません。「ふろ自動運転」により、ふろ自動スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。

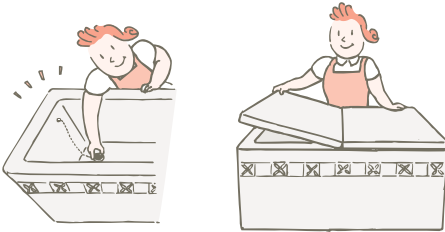
はじめてお使いのときはふろの温度40℃、ふろ水位（全自動タイプ）水位バー5:42cmまたは（自動タイプ）水位バー4:180ℓ、保温時間:4時間の設定です。ふろ温度や水位、保温時間を変更したいときはP. 11～12をご覧ください。

準備　浴槽の排水栓をしてふたをします

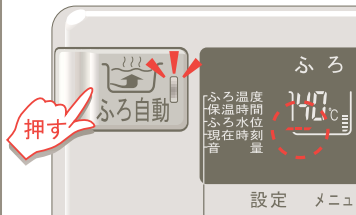
浴槽の排水栓をしてふたをします。

1　運転スイッチを「入」にします

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕

リモコンの画面が表示されます。

2　ふろ自動スイッチを押します

〔浴室リモコン〕

浴室リモコンではふろ自動ランプが赤で点灯し、▬▬▬ が以下の点滅を繰り返します。

▬ → ▬▬ → ▬▬▬ → 消灯 → ▬

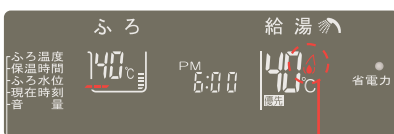
〔台所リモコン〕

台所リモコンでは**ふろ自動**スイッチが赤で点灯します。

音声ガイドが流れます。

“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか”

2-1 お湯張りを開始します。

〔浴室リモコン〕

お湯張り中表示

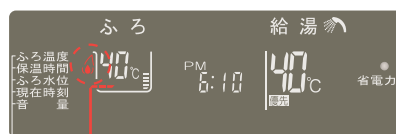
〔台所リモコン〕

お湯張り中点灯

設定水位に近くなると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。

“もうすぐおふろに入れます”

2-2 お湯張りが終わると沸かし上げます。

〔浴室リモコン〕

沸かし上げ中表示

〔台所リモコン〕

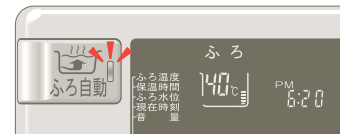
沸かし上げ中点灯

設定された温度に沸き上がると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。

“おふろが沸きました”

給湯温度が50℃以上に設定されている場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが**“熱い温度にセットされました　注意してください”**と流れます。

2-3 保温に入ります。

〔浴室リモコン〕

ふろ自動ランプが緑で点灯

〔台所リモコン〕

ふろ自動スイッチが緑で点灯

約15～30分の間隔でおふろを沸かして保温します。

全自動タイプは、お湯が減ったら設定水位までたし湯し、設定ふろ温度まで沸かします。

保温時間が終了すると浴室リモコンのふろ自動ランプ、台所リモコンの**ふろ自動**スイッチが消灯します。

おふろ沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、**ふろ自動**スイッチを押します。ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

■沸かし直しをするには

「自動でおふろを沸かすには」の項1から2-3（P. 9）と同じ操作で行います。

また、「おふろのお湯を熱くするには（追いだき）」（P. 15参照）でも行うことが出来ます。（たし湯は行いません）

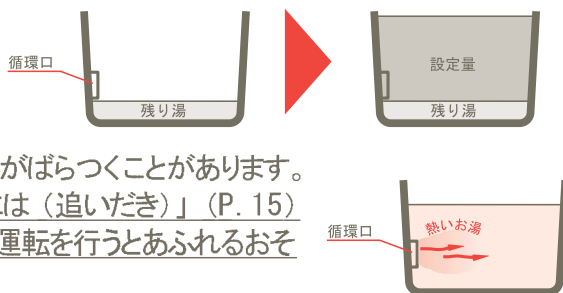
全自動タイプ

・おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位により浴槽水位が一定とならない場合があります。

自動タイプ

・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より 残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれには注意してください。

・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯がセット水位付近のときは「おふろのお湯を熱くするには（追いだき）」（P. 15）と同じ操作で行ってください。残り湯が設定水位付近でふろ自動運転を行うとあふれるおそれがあります。
また、追いだき・たし湯中は循環口から高温の湯が出ることがありますので、ご注意ください。

・残り湯と設定温度の差が少ない（約7℃未満）場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、**たし湯**ボタンを押してたし湯してください。

⚠警告 ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

●以下の場合は“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。

1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
2. 残り湯があってふろ自動運転を行った際、現在のふろ温度が設定温度に近いか高いとき。（全自動タイプ）
   残り湯があってふろ自動運転を行ったとき。（自動タイプ）

●自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。
上記「沸かし直しをするには」の項をご覧になり、再度おふろを沸かし直してください。

お願い ●排水栓をし忘れると、ふろ自動運転中、浴室リモコンに“032”もしくは“252”が点滅し運転が停止します。この場合は、排水栓をして**運転**スイッチを「切」にし、3秒以上経過してから再度**運転**スイッチを「入」にしてふろ自動運転を行ってください。（自動タイプは、“032”は表示されません）

●ふろ自動運転のお湯張り中に台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。

●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯燃焼表示（台所リモコンは給湯燃焼ランプ）がついたり消えたりすることは異常ではありません。

●残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常ではありません。

●保温時のおふろ沸かしは、気温等により約15～30分の間隔で行います。

●お湯張りを正確に行うため、電源投入後2回目まではお湯張り時間がかかります。（全自動タイプのみ）

ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには

浴室リモコンで操作します。

ふろ温度の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 設定ボタンを押します

設定ボタンを押し、◁をふろ温度の右側に表示させ、ふろ温度表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“ふろ温度です　上下ボタンで入力してください”

3 ふろ温度を設定します

上・下ボタンをふろ温度表示が点滅している間に押して、お好みの温度に設定します。

上ボタンは温度が上がります。
下ボタンは温度が下がります。

ご使用の目安　（単位:℃）

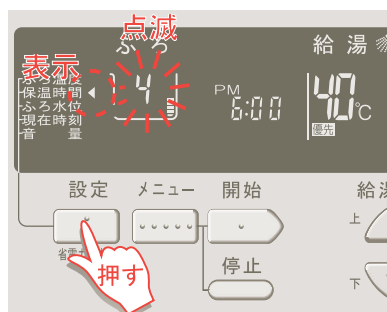
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

■:工場出荷時（40）

上・下ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“ふろ温度、セットされました”

保温時間の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 設定ボタンを押します

設定ボタンを押し、◁を保温時間の右側に表示させ、保温時間表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“保温時間です　上下ボタンで入力してください”

3 保温時間を設定します

上・下ボタンを保温時間表示が点滅している間に押します。

上ボタンは保温時間が長くなります。
下ボタンは保温時間が短くなります。

0	1	2	3	4	5	6	7	8

（単位:時間）　■:工場出荷時（4）

※保温しない場合は、“0”に設定してください。

上・下ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“保温時間、セットされました”

お願い

●浴槽の種類や施工条件によって、表示される温度と水位が実際とは多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。
また、水位を高めにセットするとあふれる場合がありますので、最初は、工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してから、お好みの水位に調節することをお勧めします。
なお、全自動タイプのふろ水位（cm）は、循環口の中心が浴槽下面から15cmにあることを前提に設定されています。

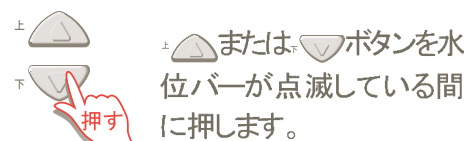
ふろ水位の設定

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 設定ボタンを押します

設定ボタンを押し、◁をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
"ふろ水位です　上下ボタンで入力してください"

3 ふろ水位を設定します

△または▽ボタンを水位バーが点滅している間に押します。

△ボタンは水位が高くなります。
▽ボタンは水位が低くなります。
（水位につきましては下記水位表示をご参照ください）

△・▽ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
"ふろ水位、セットされました"

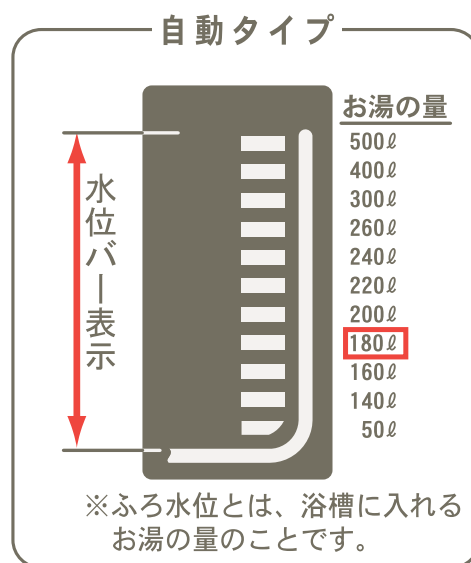
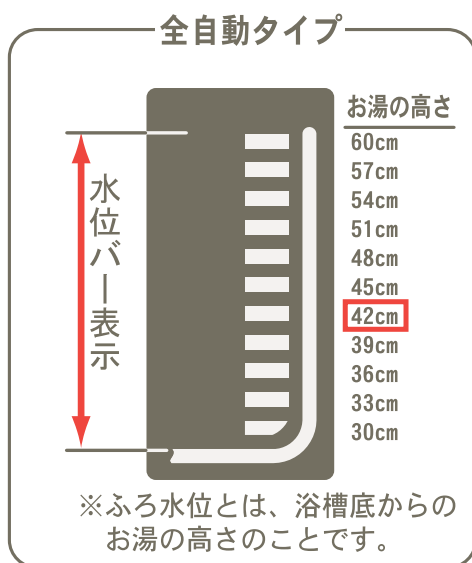
ふろ水位の目安

□：工場出荷時

全自動タイプ

※ふろ水位とは、浴槽底からのお湯の高さのことです。

自動タイプ

※ふろ水位とは、浴槽に入れるお湯の量のことです。

- 設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
- 設定時にボタン操作がない場合、しばらくするとそのまま設定されます。（音声ガイドは流れません）
- 保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

音量をセットするには

音量の設定

工場出荷時には３（大）に設定されています。

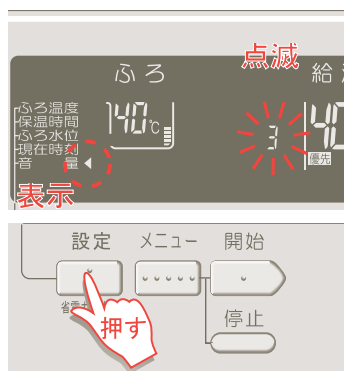
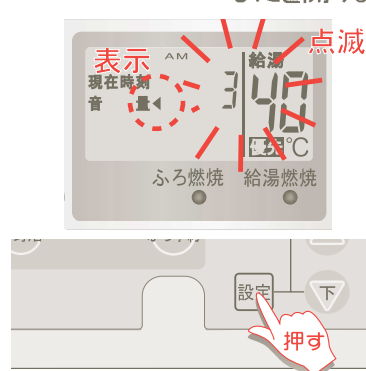
1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕

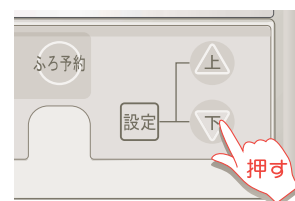
「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 設定ボタンを押します

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕ふたを開けます

設定ボタンを押し、◁を音量の右側に表示させます。音量表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“音量です　上下ボタンで入力してください”

3 音量を設定します

〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕

△上・▽下ボタンを音量表示が点滅している間に押します。
△上ボタンは音量が大きくなります。
▽下ボタンは音量が小さくなります。

0（無音）	1（小）	2（中）	3（大）

■:工場出荷時

△上・▽下ボタンで入力後、しばらくたつと確定となります。
音声ガイドが流れます。
“音量、セットされました”

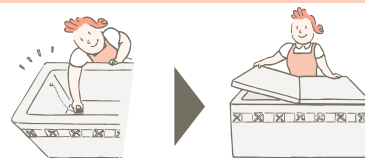
- **設定**ボタンを順に押して「ふろ温度」「保温時間」「ふろ水位」「現在時刻」「音量」を続けてセットすることもできます。セットすると音声ガイドが **“ふろ温度、保温時間、ふろ水位、現在時刻、音量セットされました”** と設定した項目についてお知らせします。
- 上記のように続けてセットする場合、**設定**ボタンは以下のように操作します。

設定ボタン → 1回押す ふろ温度 → 2回目 保温時間 → 3回目 ふろ水位 → 4回目 現在時刻 → 5回目 音量

- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 設定時にボタン操作がない場合、しばらくするとそのまま設定されます。（音声ガイドは流れません）
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、**通話**スイッチが押されたときのチャイムや通話音声音量・体重メニューで個人データを設定するときや体脂肪率・消費カロリーを測定する操作の音声ガイドは音量“小”で流れます。
- スイッチあるいはボタン操作時の音・警告音“ピッピッピッ”の音は調節できません。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。

おふろが沸く時刻を予約するには

予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

●浴槽の排水栓が閉じており、おふろのふたがしてあることを確認。
●現在時刻が合っているかを確認。(P. 5参照)
●予約時刻を確認。(下記参照)
●ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(P. 11〜12参照)

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します

2 〔浴室リモコンの場合〕 **メニュー**ボタン・**開始**ボタンを押し、予約時刻を設定します

2-1 予約表示が点滅するまで**メニュー**ボタンを数回押します。音声ガイドが流れます。
"予約です"

2-2 **開始**ボタンを押します。
予約表示が点滅から表示に変わります。
メニューバーが表示し、音声ガイドが流れます。
"予約時刻を変更する場合は　上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください"

上・下ボタンを予約時刻表示が点滅している間に押して、時刻を合わせてください。
上ボタンは予約時刻が進みます。
下ボタンは予約時刻が戻ります。
※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります。

2 〔台所リモコンの場合〕 **ふろ予約**ボタンを押し、予約時刻を設定します

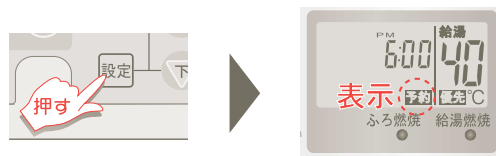
2-1 ふたを開け、
ふろ予約ボタンを押します。

予約時刻表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
"予約時刻を変更する場合は　上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください"

上・下ボタンを予約時刻表示が点滅している間に押して、時刻を合わせてください。
上ボタンは予約時刻が進みます。
下ボタンは予約時刻が戻ります。
※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります。

予約時刻の設定後、**設定**ボタンを押すと確定となります。
音声ガイドが流れます。**"予約されました　おふろの栓はしましたか"**
予約表示され、予約時刻が点滅から点灯に変わり、現在時刻に戻ります。

〔浴室リモコンの場合〕 予約を取消したいときは

メニューボタンを押し、予約を点滅させてから**停止**ボタンを押します。リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。
音声ガイドが流れます。**"予約、解除されました"**
すでにおふろ沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときには**ふろ自動**スイッチを押してください。運転が停止します。

〔台所リモコンの場合〕 予約を取消したいときは

もう一度、**ふろ予約**ボタンを押します。リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。
音声ガイドが流れます。**"予約、解除されました"**
すでにおふろ沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときには**ふろ自動**スイッチを押してください。運転が停止します。

●予約運転中におふろや台所でお湯を使ったり、残り湯があるときなどは、予約時間におふろが沸き上がらないことがあります。また、気温によっても多少前後する場合があります。
●出荷時の予約時刻はPM6：00になっています。
●設定時にボタン操作がない場合、しばらくたつとそのまま確定となります。
●予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。ただし、使用するたびに浴室リモコンは、**メニュー**ボタンを数回押して予約表示を点滅させ、**開始**ボタンを押してください。台所リモコンは、**ふろ予約**ボタンを押してください。
●リモコンに予約表示が表示されたあとは、**運転**スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また予約「入」かつ、運転「切」の状態で予約を解除するには**「予約を取消したいときは」**に従ってください。

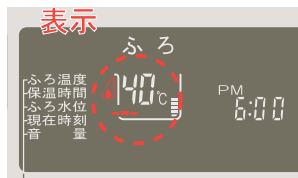
おふろのお湯を熱くするには（追いだき）

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。

浴室リモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 追いだきスイッチを押します

追いだきランプ（橙）が点灯します。
しばらくして、ふろ燃焼表示と ▰▰▰ が表示され、追いだきを開始します。
▰→▰▰→▰▰▰→消灯→▰
運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ燃焼表示と ▰▰▰ も消えます。

もっと熱くしたいときには

もう一度、**追いだき**スイッチを押します。

追いだき運転を途中で停止させるには

もう一度、**追いだき**スイッチを押します。
ふろ燃焼表示と ▰▰▰、追いだきランプが消灯して、追いだきが停止します。

⚠ 注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯（水）があることを確認する。

●**追いだき**スイッチは長く（5秒以上）押さないでください。入浴中に**追いだき**スイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。浴室リモコンに「032」が点滅し、運転を停止します。誤って押し続けた場合は**運転**スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

メモ

●追いだきで停止の操作をしない場合は、現在温度＋2℃で沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度（現在温度＋2℃）が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。
●ふろ自動運転中のお湯張り中（追いだき中）は、**追いだき**スイッチを使用できません。（警告音でお知らせします）
●エコジョーズシリーズは熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。

おふろのお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水（約12 ℓ）を入れます。

浴室リモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 ぬるく表示が点滅するまで メニューボタンを数回押します

ぬるく表示が点滅

音声ガイドが流れます。**"ぬるくです"**

3 開始ボタンを押します

開始ボタンを押した後の動作について

ぬるくとメニューバーが表示されます。
しばらくして、▱▱▱ が表示され、ぬるく運転を開始します。
約12 ℓ の水を入れて、かくはんしてから自動停止します。
▱▱▱ は以下の点滅を繰り返します。
▱→▱▱→▱▱▱→消灯→▱

運転が終了すると、ぬるく表示とメニューバーおよび▱▱▱が消灯します。

もっとぬるくしたいときには

メニューボタンを押し、ぬるくを点滅させてから**開始**ボタンを押します。

ぬるく運転を途中で停止させるには

メニューボタンを押し、ぬるくを点滅させてから**停止**ボタンを押します。リモコンのぬるく表示とメニューバーおよび が消灯して、ぬるく運転が停止します。

ご注意ください

メモ

●ぬるく運転中に給湯栓（シャワーを含む）を開けると水が出てきます。このとき給湯燃焼はしません。

●ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。

●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）やお湯の使用中はぬるく運転は行えません。
メニューボタンを押しても表示されません。給湯燃焼表示またはふろ燃焼表示が消えてからぬるく運転を行ってください。

おふろのお湯をたしたいときには

浴槽のお湯の量をたしたいときには、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れます。

浴室リモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 メニューボタンを押し、たし湯表示を点滅させます

たし湯表示が点滅

音声ガイドが流れます。**“たし湯です”**

3 開始ボタンを押します

表示

開始ボタンを押した後の動作について

たし湯とメニューバーが表示がされます。
給湯燃焼表示と が表示され、たし湯運転を開始します。
約24ℓの湯を入れて、かくはんしてから自動停止します。

は以下の点滅を繰り返します。

→ → →
消灯 →

運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯燃焼表示と も消えます。

もっとたし湯をしたいときには

メニューボタンを押し、たし湯を点滅させてから**開始**ボタンを押します。

たし湯運転を途中で停止させるには

メニューボタンを押し、たし湯を点滅させてから**停止**ボタンを押します。リモコンのたし湯表示とメニューバー、および給湯燃焼表示、 が消灯して、たし湯運転が停止します。

ご注意ください

●たし湯運転中は、給湯栓（シャワーを含む）から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。また、ふろ設定温度が高いときに、給湯、シャワー等を使うときはご注意ください。

●たし湯運転中に給湯栓を開けたときや給湯使用中にたし湯を開始すると、給湯栓から出るお湯の温度はふろ設定温度になります。給湯設定温度に戻すには、給湯を一旦停止して、たし湯終了後再度給湯栓を開けてください。このとき、給湯温度が50°C以上の場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが**“熱い温度にセットされました　注意してください”**とお知らせします。

●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）は、たし湯運転は行えません。
メニューボタンを押しても表示されません。

半身浴をするには

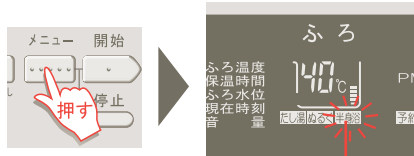
浴室リモコンで設定を行ってください。

半身浴運転は、低めの水位と低めの温度でお湯張りを行います。半身浴に最適です。
ふろ自動運転と同じくお湯張りし、保温中はふろ温度およびふろ水位（全自動タイプのみ）を保ちます。

準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

1 **運転**スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転スイッチ**を押します。

2 半身浴表示が点滅するまで**メニュー**ボタンを数回押します

半身浴表示が点滅

音声ガイドが流れます。
"半身浴です"

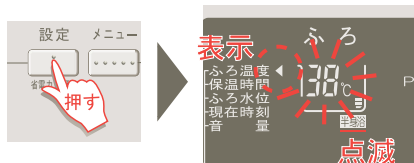
3 **開始**ボタンを押します

◁がふろ水位の右側に表示され、水位バーが点滅していることを確認します。
半身浴表示とメニューバーが表示されます。
音声ガイドが流れます。**"半身浴ふろ水位を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください"**

4 半身浴のふろ水位を設定します

上△・下▽ボタンでふろ水位を設定します。

出荷時のふろ水位の設定は、P. 18をご覧ください。

5 **設定**ボタンを押します

◁がふろ温度の右側に表示され、ふろ温度表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。**"半身浴ふろ温度を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください"**

6 半身浴のふろ温度を設定します

上△・下▽ボタンでふろ温度を設定します。

ご使用の目安（半身浴の場合）　（単位:℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
標準			ややあつめ			あつい					

■:工場出荷時

7 **設定**ボタンを押します

▬▬▬ が表示され、音声ガイドが流れます。
"お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか"

▬▬▬ は以下の表示を繰り返します。
▬ → ▬▬ → ▬▬▬ → 消灯 → ▬

設定ボタンを押した後の動作はふろ自動運転の「2-1から2-3」と同じ動作をします（→P. 9参照）

お湯張りが終了し、保温に入りますと、音声ガイドが流れます。
"おふろが沸きました"

給湯温度が50℃以上に設定されている場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが**"熱い温度にセットされました　注意してください"**と流れます。

ふろ燃焼表示🔥と ▬▬▬ が消えます。

保温時間はふろ自動運転で設定した時間になります。
約15～30分間隔でおふろを沸かして保温します。
全自動タイプは、お湯が減ったら設定水位までたし湯し、設定ふろ温度まで沸かします。
保温が終了すると半身浴表示とメニューバーが消えます。

お願い

●残り湯があるときは、半身浴運転を行わないでください。行うと浴槽より湯があふれる場合があります。

メモ

●半身浴運転では、浴室リモコンのふろ自動ランプ、台所リモコンの **ふろ自動**スイッチは点灯しません。
●「3」で**開始**ボタンを押した後、ふろ水位・ふろ温度を変更しないで半身浴を行いたいときは、再度 **開始**ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。
●上△・下▽ボタンを各設定の表示が点滅している間に押してください。
●停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。

ふろ水位表示設定について

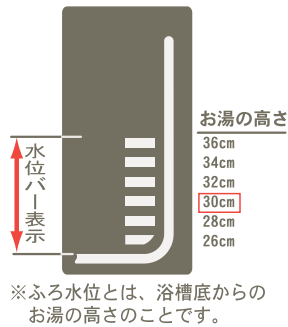
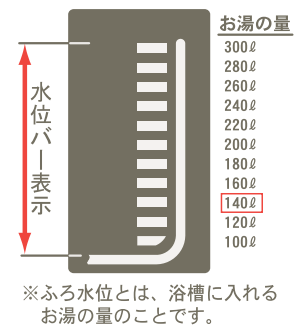
※ふろ水位は実際の水位と差が出ることがあります。

全自動タイプ

ふろ水位の目安 □：工場出荷時

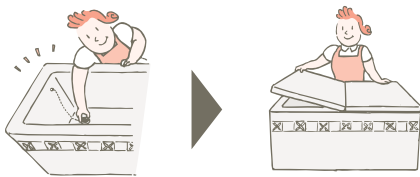
水位バー表示

お湯の高さ
36cm
34cm
32cm
30cm
28cm
26cm

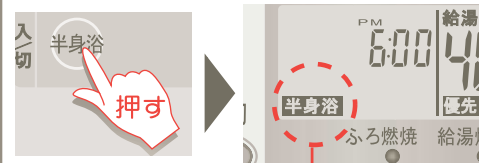
※ふろ水位とは、浴槽底からのお湯の高さのことです。

半身浴運転を途中で停止させるには

メニューボタンを押し、半身浴を点滅させてから**停止**ボタンを押します。リモコンの半身浴表示とメニューバーが消灯して、半身浴運転が停止します。

台所リモコンで半身浴運転ができます。（ただし、浴室リモコンで設定したふろ水位、ふろ温度となります）

準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転スイッチ**を押します。

2 半身浴ボタンを押します

半身浴表示が表示

音声ガイドが流れます。

“お湯張りを始めます　おふろの栓はしましたか”

半身浴ボタンを押した後の動作はふろ自動運転の「2-1から2-3」と同じ動作をします（→P. 9参照）

お湯張りが終了し、保温に入りますと、音声ガイドが流れます。

“おふろが沸きました”

給湯温度が50℃以上に設定されている場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが**“熱い温度にセットされました　注意してください”**と流れます。

ふろ燃焼ランプが消灯します。

保温時間はふろ自動運転で設定した時間になります。
約15～30分間隔でおふろを沸かして保温します。
全自動タイプは、お湯が減ったら設定水位までたし湯し、設定ふろ温度まで沸かします。
保温が終了すると半身浴表示が消えます。

半身浴運転を途中で停止させるには

もう一度、**半身浴**ボタンを押します。半身浴表示が消灯して、半身浴運転が停止します。

●半身浴の入浴時間は、20分程度を目安としてください。また、6～7分程度の入浴を3回に分けても良いです。入浴中、額に汗ばみましたら浴槽から出たりして、のぼせないように注意してください。

■半身浴の保温中に通常のふろ自動運転を行う

●全自動タイプはふろ自動運転で設定したふろ温度、ふろ水位、保温時間でおふろを沸かし上げます。

●自動タイプは、半身浴のふろ水位とふろ自動運転のふろ水位の差をたし湯して、沸かし上げます。
半身浴の保温中にたし湯をした後、ふろ自動運転を行うと浴槽よりあふれる場合がありますので注意してください。

■半身浴運転終了後、通常のふろ自動運転を行う

●詳しい説明は、P. 10の「沸かし直しをするには」をご覧ください。
※自動タイプは、ふろ自動運転のふろ温度の設定によっては、たし湯をしない場合があります。

体脂肪率や消費カロリーを測定する前に

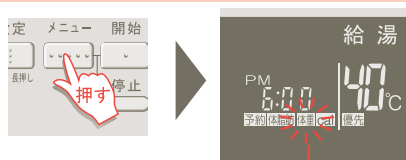
浴室リモコンで設定を行ってください。

■体重・身長・性別・年齢を入力するには

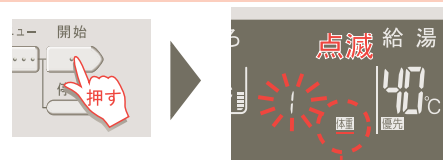
入浴中の消費カロリー(cal)の測定や体脂肪率を測定する前にあらかじめ、体重メニューでお客様の番号を決めて体重・身長・性別・年齢の個人データを入力します。個人データは1番から5番まで入力できます。

1 **運転**スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

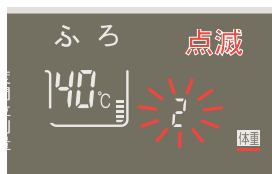
2 体重表示が点滅するまで **メニュー**ボタンを数回押します

体重表示が点滅

音声ガイドが流れます。
“体重です”

3 **開始**ボタンを押します

体重・メニューバーが表示

画面に1が表示点滅します。体重表示とメニューバーが表示します。
音声ガイドが流れます。
“あなたの番号を上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”

4 データ番号入力

データ番号を上・下ボタンで選択し、**設定**ボタンを押します

例:2で選び終えたら

5 体重入力

体重を上・下ボタンで入力し、**設定**ボタンを押します

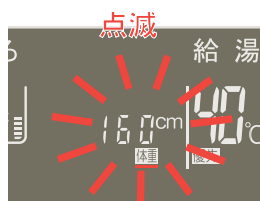
音声ガイドが流れます。
“体重です　上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

設定範囲は10.0～150kgです。

例:52.0kg

※100kg未満は、0.1kg単位で設定できます。
100kg以上は、1kg単位で設定できます。

6 身長入力

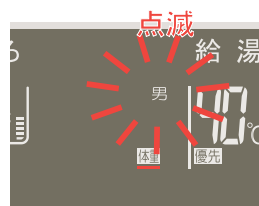
身長を上・下ボタンで入力し、**設定**ボタンを押します

音声ガイドが流れます。
“身長です　上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

設定範囲は100～220cmです。

例:170cm

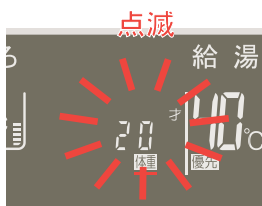
※1cm単位で設定できます。

7 性別入力

性別を上・下ボタンで入力し、**設定**ボタンを押します

音声ガイドが流れます。
“性別です　上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

例：男

8 年齢入力

年齢を上・下ボタンで入力し、**設定**ボタンを押します

設定範囲は10～80才です。

例：25才

音声ガイドが流れます。
“年齢です　上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

※1才単位で設定できます。

9 “セットされました”とお知らせします

音声ガイドが流れます。
“セットされました”
画面表示が現在時刻に戻ります

お客様の別の個人データを設定するには

2から8の手順で行ってください。
その際、お客様の番号を変えてから設定してください。

お客様の番号および設定について

リモコンで設定できるお客様の番号は1～5までです。各々の番号を選び、個人データを設定してください。

工場出荷時の設定について

工場出荷時は、1番から5番までに体重50kg、身長160cm、性別女、年齢20才と全て同じデータで仮に登録されています。

メモ

- 上・下ボタンを各設定の表示が点滅している間に押してください。
- セット完了前に操作を中断すると、約10秒後に“お客様の番号”に戻ります。その状態で約5分間放置すると個人データ入力モードは自動的にキャンセルされます。（それまでに設定した値は記憶されません）
  音声ガイドが**“もう一度やり直してください”**と流れます。　再度、初めから設定をやり直してください。
- 体重、身長、年齢を設定するときは、上・下ボタンを押し続けると連続的に数値が変わります。
  また、体重を設定するときは、上・下ボタンを押し続けると1kgづつ数字が変わります。
  （100kg以上の場合は小数点以下の表示はありません）
- 停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。

体脂肪率について（全自動タイプのガスふろ給湯器で測定できます）

※TP-A820RF-EAでは測定できません。

■体脂肪率の測定の原理・目安等の説明

入浴中に体脂肪率を測定できます

体脂肪率の測定は音声ガイダンスでお知らせします

- ●ボタン操作も音声によりお知らせします。
- ●個人データ（体重、身長、性別、年齢）を5人分まで記憶できます。また、個人データ0番を選べば、個人データは記憶されません。0番はゲスト用にお使いになることをおすすめします。

体脂肪率測定の原理

人体を構成する骨や筋肉は水に沈み、脂肪は水に浮くことがわかっています。
この原理から、人体の重さ（体重）と容積（体積）の比を求めることにより体脂肪率を導き出すことができます。

$$体脂肪率(\%)=\frac{体脂肪量(kg)}{体重(kg)}\times 100$$

骨・筋肉の比重は1.2～3.0
体脂肪の比重は0.9
身体密度（体重／体積）と体脂肪には一定の関係が存在します。

この機器は、入浴中の首下体積と入力していただく個人データ（年齢、性別、身長、体重）から測定者の体全体の体積を求め、体重との関係から体脂肪率を求めます。

体脂肪率の目安

	体脂肪率	傾　　向	体脂肪率	
女性	20未満	低い	15未満	男性
	20～25	標準	15～20	
	25～30	やや高い	20～25	
	30以上	高い	25以上	

精度よく体脂肪率を測定するには

①入浴中にお湯につかっている部分を首から下の体積としているため、体積測定中に手足の一部を水面から出してしまうと誤差が大きくなります。
②入浴中の水位上昇値から体積を求めます。測定中はできるだけ体を動かさないでください。測定できなかったり、測定に時間がかかったりします。
③測定中は普通に呼吸をしてください。大きく息を吸ったり、吐いたりすると測定誤差が大きくなります。
④体重は時間帯、食事の前後で変わります。体脂肪率測定時にはその都度体重を入力していただくと測定誤差が小さくなります。

体脂肪測定について

⚠警告 ●減量や運動療法などを行う場合は、自分だけで判断せず、医師か専門家の指導を必ず受けてください。
自己判断は、健康を害するおそれがあります。

⚠注意 ●業務用（病院やスポーツジムなど）には使用しないでください。業務用に要求される機能は備えていません。
●この機器は薬事法に定めた医療用具ではありません。
●測定した体脂肪率はあくまでも目安として、体脂肪率の変動の傾向をチェックする目的でお使いください。

体脂肪率を測定するには

■体脂肪率を測定するには、まず個人データの入力（年齢、性別、身長、体重）を行ってください。（→P. 19～20参照）次回から入力する時間がはぶけ、毎日の使用に便利です。

■メモリーできる個人データは5人分です。

■個人データ入力モードの“0”番は「ゲスト」や測定のたびに個人データを入力する場合にお使いください。

■設定できる範囲は

年　齢	10～80歳
身　長	100～220cm
体　重	10～150kg

です。

・設定範囲外に設定しようとすると“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

体脂肪率測定機能について　〈Q＆A〉

Q１：体脂肪はどのような方法で測定していますか？

Ａ：水中体重秤量法（全身を水で満たせるような大きな水槽を用いて測定する方法）を応用して算出しています。水中体重秤量法をもとにしているため、人の体比重が分かれば、体脂肪を導き出すことができます。体比重は入力した体重と、人が浴槽に入ったことにより上昇する水位から算出した体積（入浴体積）に、あらかじめ入力した身体データから推定した頭部体積と体内に残った空気量（残気量）から求めた体積との比から求めています。

Q２：身長、体重、年齢、性別を入力しなければならないのはなぜですか？

Ａ：Q１で述べていますが、頭部と体内に残った空気量（残気量）を推定するために必要となります。

Q３：測定中に深呼吸をすると測定値に影響はありますか？

Ａ：通常の呼吸量を想定して体内に残った空気量を計算しています。深呼吸をしたり、故意に息を吐いたりすると、測定値に影響がでます。

Q４：測定中にたし湯をしたり、お湯を汲み出したりしてもいいですか？

Ａ：入浴したときの水位変化量で体積を求めて体脂肪率を算出していますので、正確な値が測定できない場合があります。

Q５：ＢＩ法（Bioelectrical Impedance/生体インピーダンス法）との違いは？

Ａ：ＢＩ法は身体に微弱な電流を流して、身体の電気抵抗を測定することで脂肪とそれ以外の組織の割合を測定して体脂肪率を出す方法です。筋肉、内臓などの組織には豊富に水分が含まれ、電気を通しやすく、体脂肪には水分が含まれず、電気が通りにくいという性質を利用しています。基礎データは水中体重秤量法により取られています。

ご注意ください

●この機器は正確に体脂肪率を測定するため、施工時に、体脂肪率測定に必要な浴槽形状の読み取りを行います。浴槽形状の読み取りはデータとして電装基板に記憶されます。そのため、電装基板等の部品交換をした場合は、再度浴槽形状の読み取りを行うため、体脂肪率に変化が生じる場合があります。

●体脂肪率の測定値は入浴のしかたにより誤差が大きくなります。

●浴槽の形状によっては誤差が大きくなる場合があります。

●浴槽の大きさの目安としては、市販の内寸長手方向1400・幅800程度の洋バス（ユニットバス）までとしてください。

体脂肪率を測定します（全自動タイプのガスふろ給湯器で使用できます）

※TP-A820RF-EAでは測定できません。

体脂肪率を測定する前に、以下のことを確認してください。

ふろ自動運転の保温中（ふろ自動ランプが緑で点灯中）水位が３０cm以上であるときに測定できます。

赤で点灯しているときは、測定できません。ふろ自動ランプが消灯している時は、ふろ自動スイッチを押します。ふろ自動ランプ赤が点灯し、その後緑に変わります。
※保温時間（1以上）の設定が必要です。

緑で点灯

浴槽に入らずに、湯面が安定している状態から始めてください。

湯面がゆれていると測定できないことがあります。

測定中は浴槽へのたし湯、お湯のかい出しはしないでください。

湯量の変更により正しい測定ができません。
測定中はたし湯・ぬるく・追いだき運転は行えません。

体脂肪率測定はなるべく同じ条件で行い、より正確に測定するには、そのつど体重を入力してください。

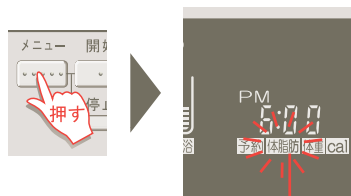
体重は時間帯、食事の前後で変わります。体脂肪率測定はなるべく同じ条件で行うことをおすすめします。より正確に測定するには、そのつど体重を入力してください。

毎日なるべく同じ条件で

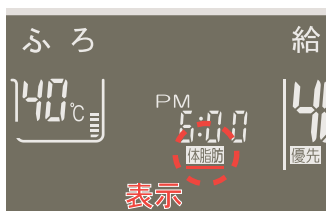
そのつど体重を入力する

確認 ふろ自動保温中であることを確認します

ふろ保温中は、ふろ自動ランプが緑で点灯しています。

1 体脂肪表示が点滅するまでメニューボタンを数回押します

体脂肪表示が点滅

音声ガイドが流れます。
“体脂肪です”

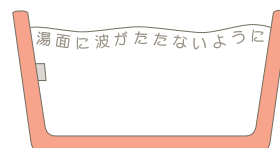
2 必ず、浴槽へ入る前に開始ボタンを押します

画面に体脂肪表示とメニューバーが表示されます。
体脂肪率測定モードに入り、音声ガイドが流れます。

“浴槽の外でしばらくお待ちください。”
※水位をチェックしていますのでまだ、浴槽へ入らないでください。

●湯面が安定しないと、データを取り込めないことがあります。
“もう一度やりなおしてください”という音声が流れたら、湯面が安定したことを確認してから、もう一度1、2の操作をしてください。

3 音声ガイドの指示で入浴します

“ゆっくりと入浴してください。”

という音声ガイドが流れたら、あまり湯面に波を立てないように、ゆっくり入浴してください。

ご注意ください

●1～5番は、あらかじめ個人データを入力しておかないと選択できません。選択しようとすると“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。
●0番を選択して測定する場合は、その都度、個人データの入力が必要です。
●体脂肪率測定中は、なるべく循環口を塞がないでください。誤差が大きくなる場合があります。
●体脂肪率は、入力する体重によって大きく左右されます。正確な体脂肪率を測定するために、入浴直前の体重を個人データに入力して、体脂肪率を測定するようにしてください。

お願い
●体脂肪率は入浴時の水位上昇から体積を求めています。入浴時に浴槽からお湯があふれると体脂肪測定値の誤差が大きくなります。正確な測定を行うために、5cm以上水位を下げる場合はリモコンでおふろの水位設定を下げ、浴槽に湯のない状態から自動運転を行ったあと測定してください。

4 あなたの番号を選択します

4-1 データ番号選択

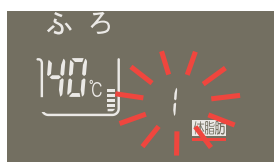
音声ガイドの声に従い、データ番号を選択します。

“あなたの番号を上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

上・下ボタンを番号表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。

上 ― 数字が増えます

下 ― 数字が減ります

例：あなたの番号が1のとき

4-2 データ番号決定

データを選択したら**設定**ボタンを押します。

音声ガイドが流れます。
“データを変更する場合設定ボタンを押してください”

データを変更するとき

もう一度**設定**ボタンを押すと個人データを変更することができます。（詳しくは、P. 19～20をご覧ください）

5 開始ボタンを押します

（**設定**ボタンを押さないで約10秒たつと体脂肪率の測定を開始します。）

押したら、湯面が安定するまでしばらく待ちます。

湯面に大きく波がたっているときは、時間がかかることがあります。

〈体脂肪率の測定〉

6 音声ガイドの指示で肩までお湯につかります

“肩までつかり、体を動かさないでください”
という音声ガイドが流れたら、肩や手足などが水面から出ないようお湯につかり、体を動かさないでください。

※湯面が安定しないとデータを取り込めず、測定が最初からやり直しとなります。

この間、機器は体積データを測定しています。浴室リモコンの画面には体積表示が出ます。湯面が安定すると5　4　3　2　1とカウントダウンを始めます。途中で体を動かすと**“体を動かさないでください”**という音声ガイドが流れ、再び5からカウントされます。

7 体脂肪率が表示されます

体積が確定すると、画面に体の体積を表示します。
その約3秒後に体脂肪率が表示されて、音声ガイドが流れます。

体脂肪率の測定値によって、発信音が鳴ります。下記の表をご覧ください。

体脂肪率	発信音
0～5%未満	1回
5～10%未満	2回
10～15%未満	3回
15～20%未満	4回
20～25%未満	5回
25～30%未満	6回
30～35%未満	7回
35%～	8回

体脂肪率が表示

“もう1度測定する場合は、10秒以内に、開始ボタンを押してください。データを変更する場合は、設定ボタンを押してください。”

何もスイッチやボタンを押さずに、約10秒たつと、自動的に体脂肪率測定モードが終了し、現在時刻表示に戻ります。

お願い

- 半身浴の保温中は、体脂肪率を測定することができません。
- 半身浴の保温中にふろ自動運転を行った後（ふろ自動保温中）、体脂肪率を測定することができない場合があります。また、ふろ自動運転の保温中にふろ自動運転の設定を変更すると、正確な測定ができない場合があります。

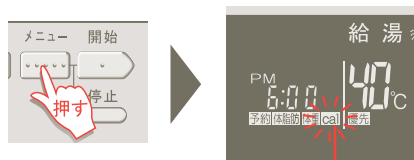
- 1～7の手順で体脂肪率を測定しているとき、4で個人データ番号を選択してから浴槽の湯面が安定するまでしばらくの間（約5～13秒）は、体積0ℓを表示します。
  一度測定した後、10秒以内にもう一度測定するときは、画面に前回測定した体積を表示します。
  ただし、10秒以上経過した後、もう一度測定するときは、前回測定した体積は表示しません。
- 体脂肪率を測定しているときには、保温中でも湯温を保つための追いだきは行いません。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。

入浴時のおよその消費カロリーを測定するには

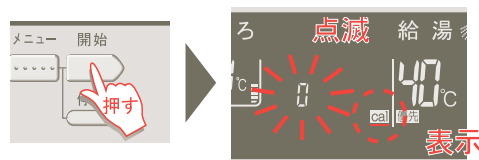
浴室リモコンで設定を行ってください。
入浴中の体内のおよその消費カロリー（cal）の測定ができます。体重メニューでお客様の番号を決めて体重・身長・性別・年齢を入力してから行ってください。

1 運転スイッチ「入」を確認します

「入」になっていないときは、**運転**スイッチを押します。

2 cal 表示が点滅するまで**メニュー**ボタンを数回押します

cal 表示が点滅

音声ガイドが流れます。
“カロリーです。”

3 **開始**ボタンを押します

画面に0が表示点滅されます。
cal 表示とメニューバーが表示されます。
音声ガイドが流れます。
“あなたの番号を上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”

4 データ番号入力

データ番号を上・下ボタンで選択し、**設定**ボタンを押します

上・下ボタンで選択します。
※個人データが入っているときは、データも表示されます。
音声ガイドが流れます。
“データを変更する場合は、設定ボタンを押してください”

変更する場合は、体重メニューの操作説明のページをご覧ください。（→P．19～20 参照）
変更しないときは、そのまま１０ 秒以上待ちます。
音声ガイドが流れます。
“セットされました”
消費カロリー測定が開始されます。

5 消費カロリー測定中の動作について

１分ごとに消費カロリーが表示されます。

画面は１分経過したときの表示例です。
例）１分・・・5．2kcal

※この動作は**停止**ボタンを押すまで90分継続します。
測定をやめるときは、必ず**停止**ボタンを押してください。

消費カロリーの測定を停止するには

メニューボタンを押し、cal を点滅させてから**停止**ボタンを押します。リモコンのcal 表示とメニューバーが消灯して、画面に経過時間と消費カロリーが表示し、現在時刻に戻ります。

⚠警告
- 減量や運動療法などを行う場合は、自分だけで判断せず、医師か専門家の指導を必ず受けてください。自己判断は、健康を害するおそれがあります。

⚠注意
- 業務用（病院やスポーツジムなど）には使用しないでください。業務用に要求される機能は備えていません。
- この機器は薬事法に定めた医療用具ではありません。
- 表示された消費カロリーはおよその値ですのであくまでも、目安としてご使用ください。

ご注意ください
- 消費カロリーを測定する際、長時間の入浴は注意してください。のぼせる等の原因になります。

- 「入浴時のおよその消費カロリーを測定するには」の項4で何もデータが入力されいない状態でそのまま１０ 秒以上たつと音声ガイドが **“もう一度やり直してください　あなたの番号を上下ボタンで入力して設定ボタンを押してください”** と流れます。
体重メニューの操作説明のページをご覧になり入力を行ってください。（→P．19～20 参照）
- 停電や電源プラグを抜いた場合など３０ 分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。

人を呼び出すには(インターホン機能)

浴室にいる時に何か必要なものがあって人を呼びたい、あるいは気分が悪くなった時などに、押すだけで台所リモコンのチャイムを鳴らして知らせ、会話ができます。
浴室から台所などにいる人を呼んで会話したいときにご利用ください。また、台所・お部屋から浴室へ呼び出し、会話もできます。

■浴室から台所へ呼び出しをするには(会話をするには)

浴室では

1 浴室リモコンの**通話スイッチを押します。**

TP-RB803A-P　通話ランプ点灯

浴室リモコンでチャイムが鳴ります。
通話ランプ(緑)が点灯し、
台所リモコンへ約30秒間通話ができます。
※**通話**スイッチを押さないで話せます。
スイッチを押した約30秒後には、自動的に通話ランプが消え、通話ができなくなります。

途中で止めるには

浴室リモコンの
通話スイッチを再度押します。

通話ランプが消灯します。

※台所リモコンの**通話**スイッチが点滅しているときに、台所リモコンの**通話**スイッチを押すと止めることができます。

台所では

TP-RK803A-P　**通話スイッチ点滅**

台所リモコンでチャイムが鳴り、
通話スイッチ(緑)が点滅し、浴室リモコンの声が流れます。

浴室からの声が流れた後、浴室へ通話したいときは

2 台所リモコンの**通話スイッチを押しながらお話しください。**

台所リモコンからの通話中は
通話スイッチ点滅→点灯

浴室リモコンより台所からの声が流れます。

その間、浴室リモコンの通話ランプが点滅しています。

- ●**運転**スイッチの「入」、「切」に関係なく操作できます。
- ●台所リモコンで会話するときは、**通話**スイッチを押しながらお話しください。
- ●増設リモコンも台所リモコンと同じ操作で呼び出しと会話ができます。
- ●台所リモコンと増設リモコンは連動していますので、台所リモコンでチャイムが鳴ったときや、浴室リモコンからの会話音声は増設リモコンにも流れます。
- ●会話をする際は、リモコンに近づき過ぎて話すと音声が割れることがあります。リモコンとの距離は30cm前後で話してください。

人を呼び出すには(インターホン機能)

■台所から浴室へ呼び出しをするには(会話をするには)

台所では	浴室では

1 台所リモコンの**通話**スイッチを押します。

TP-RK803A-P　**通話スイッチ点滅**

台所リモコンでチャイムが鳴ります。
通話スイッチ(緑)が点滅します。

TP-RB803A-P　**通話ランプ点灯**

浴室リモコンでチャイムが鳴ります。
通話ランプ(緑)が点灯します。

2 浴室へ声を流すには
台所リモコンの**通話**スイッチを
押しながらお話しください。

TP-RK803A-P

通話スイッチを押しながら話す
通話スイッチ点滅→点灯

スイッチを押している間は話すことができます。
話しが終了した後、**通話**スイッチをはなすと通話スイッチが点滅し、約30秒後に消灯します。

TP-RB803A-P

通話ランプ(緑)が点滅し、
台所リモコンからの声が流れます。

■浴室から台所へ通話するには

浴室リモコンの通話ランプ(緑)が点灯中に、浴室リモコンに向かって話しをすると、台所リモコンから声が流れます。

- **運転**スイッチの「入」、「切」に関係なく操作できます。
- 増設リモコンから浴室リモコンへ呼び出しと会話をするときも上記の方法で行います。
- 浴室リモコンでは、通話ランプ(緑)の点灯中はハンズフリー(**通話**スイッチを押さない)で通話ができます。

■台所から他の部屋へ呼び出しをするには（会話をするには）

台所では	他の部屋では

1 台所リモコンの
通話スイッチを押します。

TP-RK803A-P **通話スイッチ点滅**

台所リモコンでチャイムが鳴ります。
通話スイッチ（緑）が点滅します。

SC-631 **通話スイッチ点灯**

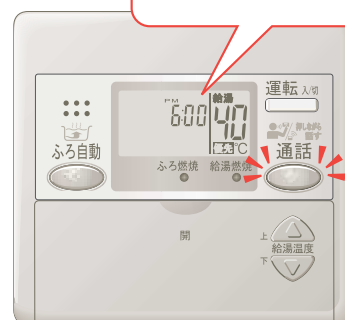
増設リモコンでチャイムが鳴ります。
通話スイッチ（緑）が点滅します。

2 他の部屋へ声を流すには
台所リモコンの**通話**スイッチを
押しながらお話しください。

TP-RK803A-P

通話スイッチを押しながら話す
通話スイッチ点滅→点灯

スイッチを押している間は話すことができます。
話しが終了した後、**通話**スイッチをはなすと**通話**スイッチが点滅し、約30秒後に消灯します。

SC-631

通話スイッチ点滅

通話スイッチ（緑）が点滅し、
台所リモコンからの声が流れます。

■増設リモコンから台所へ通話するには

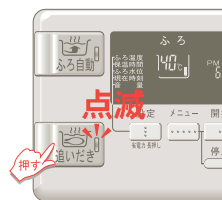
増設リモコンの**通話**スイッチが点滅中に**通話**スイッチを押しながらお話しください。
通話スイッチを押している間は、増設リモコンの**通話**スイッチが点灯しています。
台所リモコンから声が流れます。

●会話をする際は、リモコンに近づき過ぎて話すと音声が割れることがあります。リモコンとの距離は30cm前後で話してください。

冬期の凍結予防をするには

※ガスふろ給湯器付属の取扱説明書の「冬期の凍結予防をするには」の項をご覧ください。

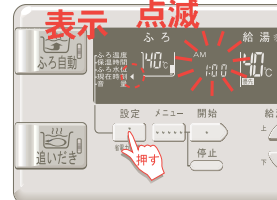
「機器の水を抜く方法」、「再使用するとき」、「凍結してしまったとき」のリモコンのイラストはお買い上げのリモコンとは異なります。

「機器の水を抜く方法」

追いだきスイッチを5秒以上押し続けます。

「凍結してしまったとき」

運転を「切」にします。

運転を「入」にします。

「再使用するとき」

リモコンで、ふろ温度・ふろ水位・保温時間・給湯温度・現在時刻等を設定し直します。

点検のポイント・お手入れのしかた

※ガスふろ給湯器付属の取扱説明書「点検のポイント・お手入れのしかた」の項をご覧ください。

点検のポイント

●月1回程度の点検を行ってください。

リモコンのお手入れ

●汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

警告 ●リモコンを分解したりしない。故障の原因になります。

分解禁止

ご注意ください

●台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

故障かな?と思ったら

※ガスふろ給湯器付属の取扱説明書「故障かな?と思ったら」の項もあわせてご覧ください。

●ガスふろ給湯器付属の取扱説明書の浴室リモコン・台所リモコンのイラストはお買い上げのリモコンとは異なります。但し、アラーム番号の表示内容は同じです。
●“111”・“121”のアラーム番号が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、アラームが解除される場合があります。

※アラーム番号の内容はガスふろ給湯器付属の取扱説明書をご覧ください。

（アラーム番号例：140）

（浴室リモコン　TP-RB803A-P）

（台所リモコン　TP-RK803A-P）

（増設リモコン　SC-631）

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●29ページの「故障かな?と思ったら」の項およびガスふろ給湯器付属の取扱説明書「故障かな?と思ったら」をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1) 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）

(2) 品名（例）TP-RB803A-P
また、ガスふろ給湯器の品名・ガスの種類もご連絡ください。（ガスの種類：例えば13A）

(3) 現象（故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく）

(4) 訪問ご希望日

保証について

●リモコンの保証は、ガスふろ給湯器に付属の保証書が適用されます。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または、最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

その他

●ガスふろ給湯器付属の取扱説明書「アフターサービスについて」の項もあわせてお読みください。

メ　モ